

底力発揮し3位 15勝7敗

盛賞が優秀選手賞

関東大学バスケットボールリーグ戦 8月25日～11月11日、

世田谷区・駒沢オリピック公園総合運動場屋内球技場ほか

今季からリーグの所属チームが増え、約2カ月間で22試合をこなすハ

ドスケジュールとなった。開幕連敗スタートとなった専大だがその後は底力を発揮。順調に白星

を積み重ね、15勝7敗の3位で今季を終えた。

佐々木優一監督は「3位という結果はチーム全体でつかみ取ったもの。22試合という長丁場で、中心選手がフル出場できなかつたが、交代選手が自分の役割を意識してプレーしたことが結果につ

なかつた」と振り返った。個人では、3ポイントシュートの成功数で3位、アシスト数で5位と攻撃をけん引した盛賞海翔(商3・能代工高)が優秀選手賞を受賞。「シュートの調子は良くなかつたが、それ以外のところで良いプレーができ、

相手が嫌がるようなことを続けられたことが評価された」と話した。主力は好調を維持しており、12月の全日本大学選手権での躍進に期待が高まる。(岡本真凜・経営1)写真(岡本真凜)

本部が準優勝



アジアオープン香港国際柔道大会 12月1～2日

本代表に選出され、81kg級で準優勝した。

銀メダルを胸にする本部専大柔道部として同大会初出場となった本部。初めての国際大会に「初の国際舞台という慣れない環境だったので、非常に疲れたが、緊張せずに戦うことができた。外国人選手との試合で自分の未熟な部分が見えたので、慢心せず、精進し続けたい」とさらなる成長を誓った。(高田)

60点中31.8点と2位につけ、2回目で34.4点をマーク。4点差で逆転した。山本は「試合中にリズムを崩すことが何度かあった。自分のペースで安定して高得点を取り続けられるようにしていきたい」と分析。

「団体で大学日本一になることが目標」と語る山本にとって、来季を見据えて上々の結果となった。



ドライブで攻め込む盛賞＝筑波大戦

三部がベスト8

全日本学生選抜卓球選手権 11月23～24日、名古屋市中・日本ガイシスポーツプラザ

10月に行われた全日本大学総合卓球選手権(個人の部)のシングルスでランキング16位以上とな

った選手らで争われる今大会。三部航平(商3・青森山田高)がベスト8という結果を収めた。三部は予選リーグを1

位で通過すると、決勝トーナメント1回戦も順当に勝利し準々決勝へ進出。明大の酒井明日翔選手と対戦し、序盤は三部が2-0とリードを広げたが、中盤から主導権を奪われ、2-4と逆転負

けを喫した。高宮啓監督は「三部の攻撃が決まらず、そこから焦りが出て、ミスが生まれてしまった」と語った。(村山健人・商1)写真(海大附属福岡高)

本部龍仁(経営2・東海大附属福岡高)が全日本学生柔道連盟派遣の日

本代表に選出され、81kg級で準優勝した。

落ち着かせることに重点を置き、調整してきた」と語る山本。1回目で3

期待の新星・山本

1部残留を決める

関東大学ラグビーリーグ戦1部2部入れ替え戦 12月8日、埼玉県熊谷ラグビー場

3年ぶりに1部に参戦した専大は法大、中大といった強豪校に勝利するも2勝5敗の7位でリーグ戦を終えた。1部残留をかけて臨んだ入れ替え戦は、2部2位の東洋大に勝利し、1部残留を勝ち取った。

前半は開始直後に先制トライを決め、優位に試合を運ぶが14-12と僅差で折り返した。後半も開始直後にトライを奪う

と、続けて主将のSH高橋昂平(経営4・長崎南山高)の絶妙なパスからCTB夏井大樹(商2・秋田中央高)が走り抜けて連続トライ。徐々に東洋大を引き離し、42-24でノーサイド。

高橋主将は「ここまでチームのみんなに助けられてきた。最後に勝利で終わられてよかった」と部員への感謝と1部残留を決めた安堵を語った。

村田互監督は「1部の伝統校に勝利するなど充実したシーズンだった。来季は創部90周年の節目でもあるので、リーグ戦で上位に入り、全国大学選手権の出場権獲得にチャレンジしたい」と早くも来季を見据えた。(高田平・経営2)写真(高田平)

OB高橋さん 侍ジャパンで躍動

野球部OBで福岡ソフトバンクホークスに所属する高橋礼さん(平30)

から15日まで開催された「ENOS侍ジャパンシリーズ2018」及び「2018日米野球」の

日本代表メンバーに初選出された。ドラフト会議後の記者会見で、「いつかは日本代表に」と語っており、プ

ロ1年目にして夢をかなえた。また、専大野球部の後輩に向け、「来年は1部に復帰し、優勝してほしい」とエールを送った。

専大出身者の野球日本代表入りは2004年アテネ五輪に出場した黒田博樹さん(平9商・元広島東洋カープ)以来2人目。

手でも抑えられると自信が持てたと振り返った。

馬術部員によるデモンストレーションから始まり、厩舎見学、乗馬体験、エサやり体験が行われた。初めて見る馬に驚く子や迫力に泣き出し

2回戦敗退



ディフェンスを振り切り、独走する夏井大樹。3トライを決め、チームの1部残留に貢献した

野球部OBで福岡ソフトバンクホークスに所属する高橋礼さん(平30)から15日まで開催された「ENOS侍ジャパンシリーズ2018」及び「2018日米野球」の日本代表メンバーに初選出された。ドラフト会議後の記者会見で、「いつかは日本代表に」と語っており、プ

ロ1年目にして夢をかなえた。また、専大野球部の後輩に向け、「来年は1部に復帰し、優勝してほしい」とエールを送った。

専大出身者の野球日本代表入りは2004年アテネ五輪に出場した黒田博樹さん(平9商・元広島東洋カープ)以来2人目。

手でも抑えられると自信が持てたと振り返った。

馬術部員によるデモンストレーションから始まり、厩舎見学、乗馬体験、エサやり体験が行われた。初めて見る馬に驚く子や迫力に泣き出し

2回戦敗退

馬と触れ合うワンデー

馬術部員によるデモンストレーションから始まり、厩舎見学、乗馬体験、エサやり体験が行われた。初めて見る馬に驚く子や迫力に泣き出し

2回戦敗退

2回戦敗退



バックハンドで攻める三部＝予選リーグ

安藤・田添が1リーグ参戦

10月に開幕した卓球の新プロリーグ「Tリーグ」。世界トップクラスの選手が多数参戦するなか、専大からは男子の田添響(商4・希望が丘高)が木下マイスター(京)に、女子の安藤みなみ(商4・慶誠高)がトッポおとめピンポンズ名古屋に所属し、参戦している。安藤は11月20日の木下アヒル神奈川戦でデ

ビュー。12月8日の日本生命レッドエルフ戦で前田美優選手を3-1で降し、初勝利を飾った。

また、田添の兄である卓球部OBの田添健汰さんも木下マイスター(東京)に在籍しており、2試合に出場。女子では鈴木李茄さん(平29商)が安藤のチームメイトとして3試合に出場している。(村山)

山本がV

関東学生アーチェリー新人個人選手権 11月2日、横浜市・富岡総合公園アーチェリー場

経験者男子の部で山本陽生(文1・千葉英和高)が優勝を果たした。「今大会に向け、心を

落ち着かせることに重点を置き、調整してきた」と語る山本。1回目で3

期待の新星・山本



期待の新星・山本

馬と触れ合うワンデー

馬術部員によるデモンストレーションから始まり、厩舎見学、乗馬体験、エサやり体験が行われた。初めて見る馬に驚く子や迫力に泣き出し

2回戦敗退

2回戦敗退

記録コーナー

◇サッカー部

▽関東大学リーグ戦(11月25日まで、北区・味の素フィールド西が丘ほか) 8勝5分け9敗・勝ち点29(9位)

◇バレーボール部

▽全日本大学男子選手権(11月26日～12月2日、大田区総合体育館ほか)

2回戦敗退

2回戦敗退

2回戦敗退

2回戦敗退